

珠算能力検定受験者への注意

○答案記入上の注意

1・2・3級試験受験者

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
- (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること。
- (3) 無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 0.25 1,427.39 2,905,406
- (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) 小数第3位未満の端数を四捨五入したとき。
そろばん面 答
0.4595 ……………0.460 0.46
5.2004 ……………5.200 5.2 (5.20 とは書かないこと。)
- (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。
そろばん面
0.45 ……………0.45 .45 (0.450 又は .450 とは書かないこと。)
5.2……………5.2 (5.20 又は 5.200 とは書かないこと。)
- (6) 名数の答は、次の例のように書くこと。
(例) ¥9,528 ¥9,528. ¥9,528- 9,528
(¥9,528.0 ¥9,528¥ ¥9,528円 9,528¥のような書き方はしないこと。)
〔注〕 答の頭には円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
- (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
- (11) コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。

4・5・6級試験受験者

- (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
- (2) 答の1の位又は円の位以上には、3位ごとにコンマ「,」を付けること、が原則であるが付けなくてもよい。
- (3) 名数の答の頭には、円の記号(¥)を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
- (4) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。
- (5) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。

(例) 123,456

123,456

- (6) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は()で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (7) 答を二つ以上書いたりしないこと。

○その他の注意

- (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて計算の準備をしないこと。
- (2) 計算開始の合図があるまでは、問題を開かないこと。
- (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
- (4) 受験票を紛失したり、忘れてしまった場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。